

建設投資の推移

(単位：億円、実施値は2000年度価格)

年度	90年度	95年度	00年度	03年度	04年度	05年度 (実績見込み)	06年度 (見込み)	07年度 (見通し)	08年度 (見通し)
名目建設投資 (対前年度伸び率)	814,395 11.4%	790,169 0.3%	661,948 -3.4%	537,069 -5.5%	527,766 -1.7%	521,200 -1.2%	522,800 0.3%	518,500 -0.8%	513,000 -1.1%
名目政府建設投資 (対前年度伸び率)	257,480 6.0%	351,986 5.8%	299,601 -6.2%	234,697 -9.4%	207,683 -11.5%	195,300 -6.0%	184,300 -5.6%	170,500 -7.5%	157,900 -7.4%
(寄与度)	2.0	2.5	-2.9	-4.3	-5.0	-2.3	-2.1	-2.6	-2.4
名目民間住宅投資 (対前年度伸び率)	257,217 9.3%	243,129 -5.2%	202,756 -2.2%	179,008 -0.3%	183,748 2.6%	184,300 0.3%	191,000 3.6%	193,500 1.3%	194,100 0.3%
(寄与度)	3.0	-1.7	-0.7	-0.1	0.9	0.1	1.3	0.5	0.1
名目民間非住宅建設投資 (対前年度伸び率)	299,698 18.4%	195,053 -1.8%	159,591 0.7%	123,363 -4.9%	136,335 10.5%	141,700 3.9%	147,500 4.1%	154,500 4.7%	161,000 4.2%
(寄与度)	6.4	-0.4	0.2	-1.1	2.4	1.0	1.1	1.3	1.3
実質建設投資 (対前年度伸び率)	840,446 7.6%	777,268 0.2%	661,947 -3.6%	548,316 -6.1%	532,812 -2.8%	520,300 -2.3%	511,700 -1.7%	500,200 -2.2%	488,200 -2.4%

※06年度まで国土交通省「平成19年度建設投資見通し」による

※民間非住宅建設投資＝民間非住宅建築投資＋民間土木投資

建設経済研

建設投資再び下落へ

08年度見通し51.3兆円

住宅着工は4年連続高水準

建設経済研究所は20日、07、08年度の建設投資見通しを発表した。投資額は07年度が51兆8500億円(前年度比0・8%減)、08年度が51兆3000億円(同1・1%減)と予測。06年度にいったん上向いた建設投資は07年度からは再び下落し、2年連続で減少する見通しとなっている。

08年度の建設投資のうち、政府部門は前年度比7・4%減の15兆7900億円、民間住宅部門は同0・3%増の19兆4100億円、民間非住宅部門は同4・2%増の16兆1000億円と見込んだ。民間投資は企業の設備投資が堅調で全体を支える。政府部門はマインス傾向に歯止めがかからない状況が続くとみている。

08年度の住宅着工戸数は前年度比1・3%減の126万3800戸と予測。マンションの着工ラッシュは一段落するものの、05年度から4年連続

で120万戸を超える高水準を維持する見込みだ。

分譲住宅は依然として好調だが、土地の手当てが難しくなり着工戸数は減少傾向となる見込み。

19年 7月 20日

建設工業新聞